

新規事業採択時評価結果（平成21年度新規事業化箇所）

担当課：近畿地方整備局 地域道路課  
担当課長名：浜野 利彦

事業の概要

事業名	主要地方道 上中田烏線	事業区分	地方道	事業主体	福井県
起終点	自：福井県三方上中郡若狭町上黒田 至：福井県三方上中郡若狭町三田	延長	0.4 km		
<p><b>事業概要</b></p> <p>主要地方道上中田烏線の当区間は、現在、福井県内の小浜西IC～敦賀JCT間で整備が進められている舞鶴若狭自動車道の上中IC（仮称）（平成26年度供用予定）のインターチェンジ道路であり、主要地方道上中田烏線（現道）に接続し、小浜市街地および若狭町市街地へアクセスする道路である。</p>					
<p><b>事業の目的、必要性</b></p> <p>当路線と舞鶴若狭自動車道を一体的に整備することにより、国道27号の慢性的な渋滞緩和が図られるとともに、若狭湾国定公園、若狭熊川宿（歴史国道）などの観光施設への入込客の増大、若狭中核工業団地などの工業団地へのアクセス向上等が図られ、当地域の観光振興、産業振興に大きく寄与するものと期待される。</p>					
全体事業費	28 億円	計画交通量	2,500 台/日		
<p><b>事業概要図</b></p> <p><b>事業箇所</b></p>					

**関係する地方公共団体等の意見**

上中田烏線は、当事業区間も含め、舞鶴若狭自動車道上中IC（仮称）と国道27号のアクセス道路であり、観光客増加や産業振興に寄与するとして、上中町長（現若狭町）から要望を受けている。

**事業採択の前提条件**

費用対便益：便益が費用を上回っている。（費用便益比5.4）  
円滑な事業執行の環境：全事業区間で用地確保がなされている。  
中日本高速道路株式会社と事業に関する費用負担及び施行区分について、基本協定を締結（H17.9）

事業評価結果

費用対便益	B/C	5.4	総費用：26億円 （事業費：26億円 維持管理費：0.29億円）	総便益：141億円 （走行時間短縮便益：96億円 走行経費減少便益：31億円 交通事故減少便益：14億円）	基準年 平成20年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= 4.8 （交通量 -10%）	B/C= 5.9 （交通量 +10%）		
		事業費変動	B/C= 5.0 （事業費 +10%）	B/C= 6.1 （事業費 -10%）		
	事業期間変動	B/C= 5.2 （事業期間 +2年）	B/C= 5.8 （事業期間 -2年）			
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策		上中IC（仮称）への接続道路の整備により、国道27号などの幹線道路から舞鶴若狭自動車道への交通の転換が図られることにより、渋滞の緩和が見込まれる。		
		事故対策	-	注目すべき影響はない。		
		歩行空間	-	注目すべき影響はない。（自動車専用道路）		
	社会全体への影響	住民生活		高次医療施設への利便性向上。（舞鶴若狭自動車道から当路線を経由して、3次医療施設である公立小浜病院への利便性が向上し、緊急搬送エリアが拡大する。）		
		地域経済		嶺南地域間の相互交流を強化するとともに、舞鶴若狭自動車道からの観光客増加による観光振興、若狭中核工業団地へのアクセス強化による物流の効率化、産業振興にも寄与。		
		災害		原子力災害時の緊急避難道路として、信頼性の高い道路網が形成される。		
		環境	-	注目すべき影響はない。		
	地域社会		観光客数は近年増加傾向にあるが、高速交通ネットワークとの連結により、広域的な観光ルートが形成されることから、さらなる観光振興が見込まれる。			
事業実施環境		本路線は、インター機能を有する幹線道路であり、高速交通ネットワーク道路網を形成する上で重要な路線となる。				

採択の理由

事業主体である福井県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が5.4と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。  
また、舞鶴若狭自動車道上中IC（仮称）の接続道路の整備により、高次医療施設への利便性の向上、原子力災害時の避難路の信頼性の確保、観光振興や物流の効率化など、当該事業の整備の必要性・社会全体への効果は高いと判断できる。  
以上より、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。